

### ➤ グラフィックス技術に特化した研究開発型ファブレス半導体ベンダー

- ・デジタルメディアプロフェッショナル(以下、同社)は、同社が独自に開発したグラフィックス技術をライセンス供与、またはこれを組み込んだ LSI 製品の生産を外部委託し販売する研究開発型ファブレス半導体ベンダーである。
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「IoT 推進のための横断技術開発プロジェクト」の受託(2016年7月8日リリース)等は、技術開発力において同社が高い競争力を有している証左と考えられる。

### ➤ 2017年3月期第1四半期決算

- ・2017/3 期第1 四半期(以下、1Q) 決算は、売上高 43 百万円(前年同期比 28.1%減)、営業損失 131 百万円(前年同期損失額 118 百万円)、経常損失 141 百万円(同 113 百万円)、当期純損失 141 百万円(同 113 百万円)であった。
- ・事業別売上高は以下の通りである。
  - ア) IP コアライセンス事業は 43 百万円(前年同期比 28%減)。既存顧客向けのランニングロイヤリティ収入、及び保守サポート収入を計上したものの、一部顧客における出荷遅延の影響を受けた。
  - イ) LSI 製品事業はほぼ 0 百万円(前年同期は売上計上なし)。アミューズメント機器向けの 2D/3D グラフィックス LSI「VF2」の性能評価ボードの売上を計上したものの僅少であった。
  - ウ) その他の事業の売上計上はなかった(前年同期も売上計上なし)。
- ・大幅減収により労務費や減価償却費、地代家賃等の固定的な経費負担が重くなり、売上総利益は 29 百万円(前年同期比 42.2%減)、売上総利益率は同 16.7%ポイント悪化し 68.5%となった。販売費及び一般管理費は 161 百万円(同 5.1%減)と、各費目において後倒しがあったことからやや抑制できた。しかし、研究開発費は 85 百万円(同 6 百万円増)となるなど限界があり、売上総利益の減少を補えず、営業損失額は同 13 百万円拡大し 131 百万円となった。
- ・1Q 末の総資産は買掛金の減少等により 1,935 百万円(前期末比 308 百万円減)となった。2016/3 期 4Q 発売の VF2 売上計上がなく、これに係る委託生産品仕入に伴う買掛金がなくなったことにより、負債は 81 百万円(同 164 百万円減)、純資産は 1,854 百万円(同 144 百万円減)となった。自己資本は前期末比 145 百万円減少し 1,851 百万円となったが、自己資本比率は同 6.7%ポイント上昇し 95.6%となった。
- ・同社は、2016 年 8 月に、3D グラフィックス IP コア「M3000 シリーズ」の提供を開始した。このシリーズは「VF2」の後継機として開発している LSI の IP コア部分であり、同社の前世代 IP コアに比べ 50%のサイズ削減で 2 倍の動作周波数を実現、省電力化、低コスト化にも繋がる。また、最新据置型ゲーム機の 3D グラフィックス映像表現をモバイル機器で実現すること、並びに人工知能のディープラーニングで必要なコンピューティング処理の実現を目指しており、LSI も 2017 年前半に出荷する予定である。

### ➤ 2017年3月期会社予想：開発費が利益を圧迫し、5期連続の純損失となる見通し

- ・同社は 2017/3 期業績について、1Q 決算がほぼ当初の想定通りであったことから、売上高 1,000 百万円(前期比 36.3%増)、営業損失 161 百万円(前期損失額 176 百万円)、当期純損失 161 百万円(同 64 百万円)とする期初予想を据え置いた。「VF2」の後継機開発に伴う開発費計上が利益を圧迫すると見込んでおり、5 期連続の純損失となる見通しである。

【 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種:情報・通信業 】

株価(8/10終値)2,792円、時価総額7,574百万円、会社予想基準PER(今期) N.A.倍

決算期		売上高	前期比	営業利益	前期比	経常利益	前期比	純利益	前期比	EPS	BPS	配当金
		(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(円)	(円)	(円)
2015/3	通期	464	30.6	-462	—	-265	—	-311	—	-120.62	762.65	0.0
2016/3	通期	733	58.1	-176	—	-193	—	-64	—	-23.89	736.12	0.0
2017/3	通期CE	1,000	36.3	-161	—	-161	—	-161	—	-59.35	—	0.0
2017/3	通期E	1,000	36.3	-161	—	-161	—	-161	—	-59.35	676.75	0.0
2018/3	通期E	1,600	60.0	100	—	100	—	100	—	36.88	713.62	0.0
2016/3	1Q	60	-43.5	-118	—	-113	—	-113	—	-42.02	721.25	0.0
2016/3	2Q	147	-43.9	-179	—	-176	—	-47	—	-17.77	744.90	0.0
2017/3	1Q	43	-28.1	-131	—	-141	—	-141	—	-52.25	682.44	0.0
2017/3	2QCE	137	-7.0	-194	—	-194	—	-194	—	-71.52	—	0.0

(注)CE:会社予想、E:アルファ・ウイン調査部予想、Qは四半期、2Qは累計期間

## ディスクレーム

アルファ・ウイン 調査メモ (以下、本メモ) は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社 (以下、弊社) が作成したものです。

本メモは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本メモに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本メモの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材等を経て作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本メモに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本メモに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本メモの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

連絡は、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。